

南房総地域半島振興広域連携促進事業

千葉県(南房総地域)

事業費:10,893千円 (内訳)国:3,340千円、市町:3,919千円)

事業目的

南房総地域は、気候、風土、自然に恵まれながらも、三方を海で囲まれ地理的不利な条件にあり、千葉県内でも人口減少が著しく、地域の活力の低下が懸念されています。このような中、勝浦市では平成27年度で16回目となる「かつらひな祭り」を開催しており、毎年新たな企画を盛り込んではいるものの、イベント内容の新鮮みが薄れていることや近年、他自治体においても同様のイベントが開催されている影響もあり、来場者数が減少傾向にあるのが課題になっていました。

これらの課題に対して、「半島振興広域連携促進事業」を活用し、隣町の御宿町で同時期に開催されている「つるし雛めぐり」と連携することで、新たな形のひな祭り(ひな祭りコラボ)をコンセプトに開催すること交流人口の増加を図るとともに、交流をきっかけとした移住・定住の促進を図ることを目的として事業を行いました。

【一日あたりの平均来場者数:平成22年度⇒19,234人・平成26年度⇒12,750人】

事業内容

○「交流人口増加に向けた新たな形の観光イベント」の実施

- ①イベントの同時開催(勝浦・御宿ひな祭り合同開催事業)
- ②両自治体でのイベントポスターによる合同開催PR
- ③勝浦会場と御宿会場をシャトルバスで繋ぎ、両会場の交流が図れるよう、スタンプラリーを実施

○「南房総半島地域合同観光PR・移住相談会」の実施

「ひな祭りコラボ」実施時に、会場に県と半島市町の合同ブース出展を行い、半島地域の魅力を発信、宿泊客の増加など回遊促進を図ると共に、交流をきっかけとした半島市町への移住・定住のPRを行いました。

事業成果

勝浦・御宿ひな祭り合同開催事業(ひな祭りコラボ)を行ったことにより、一日あたりの来場者数が勝浦市は14,200人(前年12,750人)、御宿町は770人(前年590人)であり、両市町ともに来場者の増加が図れました。



ビッグひな祭り会場
(勝浦市)



つるし雛めぐり会場
(御宿町)



イベントポスター